

10月20日に新型コロナ対策本部会議が開催され、神奈川県では「段階的な緩和の期間」を10月24日に解除し、新たに11月30日までを「基本的対策徹底期間」として、引き続き感染防止対策の徹底に取り組むこととしました。これを受けまして、県立高等学校の教育活動は大幅に制限が解除されることとなり、朝の時差通学は継続されましたが、学習活動、部活動、学校行事は、ほぼ正常通り実施できることとなりました。第6波も心配されますが、感染防止対策を徹底しながら本校における教育活動が適切に推進できるように、教職員一丸となって取り組んでまいりたいと思います。

11月に入り、本校では校内授業研究を実施しました。各教科2名の教員が研究授業を実施し、その授業を他の教員が観察することで自己の授業の改善に活かすようにしました。学校は授業が命です。学習指導要領の趣旨に則った授業が実践できているのか、授業のねらい、テーマ、ポイントを意識しているのか、生徒のニーズに伝えられているのか、この3つの視点から授業を評価し協議することで、本校の授業レベルの維持、向上が図れると考えています。先生たちには、自己満足の授業に陥ることなく、こうした視点から日頃の授業を組み立てられるように、校長として指導してまいります。

11月4日は、1年生が鎌倉散策に出かけました。小春日和の良い天気の中、建長寺や鎌倉宮、鎌倉文学館などを訪れ、鎌倉の歴史と伝統、文化を学びました。生徒たちは、学習した内容を後日に発表できるように、細かなメモを取って自分の課題を調査していました。PTAでも11月27日に鎌倉散策が予定されていますので、ご家庭でも本校のお膝元「鎌倉」について話題にし、家族の絆を深める機会にしていきたいと思います。

11月9日から12日まで、2年生が九州修学旅行に出かけました。コロナの感染状況によっては昨年同様に延期や中止も考えられましたので、予定通り実施できて安堵しました。出発前に阿蘇山の噴火があり、保護者の皆さんにはご心配をおかけいたしました。行程変更により生徒に不安を与えることなく実施できました。現地にて地域を学ぶことはもちろんですが、高校時代に日常を離れて級友と同じ体験をしながら語り合うことは、人格形成の上で欠かせないことだと思います。貴重な経験を通して、自己を見つめ、自分の生き方、在り方を考える機会にしてほしいと思っています。そして、高校時代を通して一生涯の友が見つかることを願っています。

11月24日に、「六国祭」で打ち上げることができなかった花火を打ち上げることとしました。これまでコロナにより様々な教育活動が制限されてきましたので、生徒たちには、素直に自分の与えられた環境を受け入れながらも、しっかりと前を向いて頑張ってきた自分へのご褒美として受け止めてもらいたいと思います。また、コロナ禍の中で身を削りながらも献身的に私たちの学校や社会を支えてくれた保健・医療従事者や地域の皆さんなどへの感謝の機会としてほしいと思います。保護者の皆さんも、是非ともご覧ください。

いよいよ冬が本格的にやってきます。生徒たちには体調を崩すことのないように、自己管理に努め、引き続き充実した学校生活を送ってほしいと思います。